

引退記念
独占
インタビュー

INTERVIEW&TEXT
MEIRI MARIMO

PHOTOGRAPHY
IGOR MASLOV
(on Pages 27 & 28,
Page 31 (bottom))

王者の孤独を越えて アレッシアの 存在証明

ジニア時代以来不变のパートナー、ミルコ・ゴッザーリと共に、本場英国の技術＆美意識の盤石な土台の上にイタリア伝来の情熱的表現を花開かせて、21世紀のボールルーム・ダンスの指向性と「レイディ！ダンサー」の新しい理想像とを新世纪初頭の10年間で「手に定義付けた、「強い女」アレッシア・ベッティ。2009年夏に21年間競技生活を共にしたミルコと決別して年下の恋人との新キャリアを開始し、1年半後にブラックプール・ファイナリストに返り咲くも、4か月後に突然の引退表明。その翌月母国イタリアで、時折その大きな両目に涙を満々と湛えながら、この不世出のフォロワーが胸襟を開いてくれた。

2013.02

野

ウサギが跳ね落ち葉が
散り敷く芝野の奥で煉
瓦建ての家々が煙突から暖炉
の煙を吐き出す、ロンドン南

方の郊外コブソーン。この町
で2011年10月、インター
ナショナル選手権（通称ロンド
ン・インター）開幕前夜の恒例

行事「The Night of 100 Stars」
（ザ・ナイト・オブ・ア・ハン
ドレッド・スターズ）が開催さ
れた。これは主催者のBDF

（ボールルーム・ダンサーズ連
盟）が、毎年いわば（仲間う
ち）のボールルーム＆ラテン両
部門の全ファイナリストを始
めとするトップ・プロ20余組を
集結させるショーダンスのタ
ベであり、その中で発表される
「BDF賞」は「競技ダンス界
きっての栄誉」の一つに数えら
れるという。

今年そのBDF賞「生涯功
勞賞」を授与されたのが、ア
レッシア・ペッティ。2009
年8月の突然のカップル解消
までパートナーのミルコ・ゴッ
ゾーリと共に、アマチュアとし
て英国三大会および世界選
手権を2度ずつ（インターは3
度）、プロとしてはそれすべ
てを4度ずつ制覇。——司会

者がそう紹介する実績は今回
榮譽に何の不足もないながら、
なぜまだ現役の今「生涯功劳
賞」なのだろう？

彼女はミルコと決別後ほど
なく3年越しの恋人アンジェ
ロ・マドニアと組み直して主要

競技会の常連セミファイナリ
ストとなり、2011年6月
のブラックプールのタンゴで
ついに感動のファイナル復帰。
彼女が背番号をコールされて
アンジェロと共にウインター・
ガーデンの決勝ラウンドに踏
み出した途端、満場の観衆が
熱烈な歓迎の拍手を浴びせて
競技の流れがしばし途切れた
ほどだった……。今夜の司会
者もその全英選手権の場面に
言及する。「彼女のパートナー
にして今や新婚1か月の夫ア
ンジェロと共に、嵐のような喝
采を浴びて私たちの涙を誘い
……。あら、結婚したんだ。

「今晚のパフォーマンスに先立
ち、アレッシアからのメッセージ
を読み上げさせていただき
ます。——8歳の時初めて祖
父がダンス・スクールに連れて
行ってくれて以来、ダンスは私
の人生になり、私は青春の時間
のいっさいを体育館での練習

に捧げました。『何かに情熱を
注ぐとき苦痛は感じないもの』
だから、困難とは感じませんで
した。……この旅路は挑戦の連
続であり、成功への道は長く険
しいものでした。……』

ダンスフロア脇の黒い緞帳
で仕切られたスタンバイ・ス
ペースで、白いダンスドレス姿
のアレッシアは一人うつ向きが
ちにゆっくり歩を巡らせなが
ら、声を殺して泣いている。保
温用に肩にかけたタオルを外
してしきりに両目に当てるが、
涙の流れはとめどない。アン
ジェロはそんな彼女に無言の
配慮の距離を保つたまま、同様
のペースで薄暗い舞台裏を行
きつ戻りつする。司会者の朗読
は続く。「しかし今、私がダン
スシユーズをしまい、教師とし
てコーチとしての役割に着手
すべき時が来たのです」

えつ！——ではこれは、彼
女の引退セレモニーなのだ。
「生涯功劳賞」は彼女への（は
なむけ）……。今、正真正銘
との全盛時代、競技フロアや
ショーケースにあってあたかも
周囲の熱気から一人身を退け
ているかのように見えたあの
表情には涙の痕跡はみじんも
ない。パフォーマンス後に彼女



ロンドン・インター開幕前夜、郊外のホテルのこじんまりしたフロアで仲間や恩師に見守られてのラスト・ワルツ。涙は舞台裏と胸中にとどめて

夫のキャリアを刷新するためには

6週間後。アレッシアに指定
された面談場所は、彼女の故
郷トスカーナ州の隣ウンブリ

ア州の高原スパ＆リゾート。周
辺の森林も草原も峡谷も遙か
な山脈も青々と連なり、敷地

の恩師たるマーカス＆カレン・
ヒルトンやケニー＆マリオン・
ウェルシュが登場した時です
え、感情に溺れかかる隙をほと
んど見せない。

「生涯功劳賞」は彼女への（は
なむけ）……。今、正真正銘
との全盛時代、競技フロアや
ショーケースにあってあたかも
周囲の熱気から一人身を退け
ているかのように見えたあの
表情には涙の痕跡はみじんも
ない。パフォーマンス後に彼女

「ビデオでたどると私の試合中の表情がものすごく変わったのがわかるでしょう。最初は本当に楽しそうなのに、そのうち『あなたは全然笑わない』と言われるようになる。キャリアは順調なのに、『何かが違う』『私の人生には何かが欠けている』という思いがどんどん膨らんできて、もうその胸中をごまかす気も失せたのね。私たち、毎月2度も3度も旅に出るけど、常に行動を共にするミルコとの間にcomplicity（コンプリシティ）…文字通りには『共犯関係』）がもう存在しなかつた。彼には妻がいて家族に囲まれて幸せなのに、ダンス・パートナーの私は彼の生活の単なるanother part（アナザーパート）…また別の部分）。母が時々旅に同行してくれても恋人はそばにいない。私はいつも

ち、孤独）だったのよ」

の表情がものすごく変わったのがわかるでしょう。最初は本当に楽しめたのに、そのうち『あなたは全然笑わない』と言われるようになる。キャリアは順調なのに、『何かが違う』『私の人生には何かが欠けている』という思いがどんどん

うち『あなたは全然笑わない』と言われるようになる。キャリアは順調なのに、『何かが違う』『私の人生には何かが欠けている』といふ」という思いがどんどん

うち『あなたは全然笑わない』と言われるようになる。キャ

アは常に最優先。ミルコは3歳以上で私が11歳の時以来のパートナーだけど、ユース時代以来の恋人同士でもあった。でも2001年世界アマ選手権で2位に着けた時、『私生活の（感傷的）雑事で時間を浪費せず、一緒に過ごす全ての時間

のUKオープン以降2004年の同大会でプロに向するまで、世界選手権を含めた全戦全勝のアマ王者として君臨する。が、後年その〈alone〉の彼女を苦み始める。自伝ビデオの中に、2006年9月千葉・幕張での世界プロ選手権で2連覇を果たした彼女が、表彰台の上で滂沱の涙を流す場面がある。歓喜の涙ではない。

「当時私はセリエ・リーグのサッカー選手の恋人がいて、お互いにキャリア最優先ということで合意してたの。でもその一方で『人生で一番大切なものは何?』と自問し始めたし、『私生活とキャリアを両立させられるかも』という希望もあつた。でも連覇して思い知ったの

の観衆に示すために、「笑わ

ばかり。ついに『ダンスはただの仕事で、人生そのものじゃない』という結論に達し、引退を

量りにかける決意で2009年夏のジャーマン・オープン選手権（GOC）へ。4連覇の表彰後、ミルコにカツブル解消を通告した。本来一人は翌年

1月のUKオープンでの引退発表で合意していたが、「もしもあのまま続けていたら……」競技キャリアが失速した? (つまり、負け始めた?) —— アレッシアは深くうなずいて「そうね。そうね」と繰り返した。

「私はもう一度自分自身のため

に踊りたかった。試合をエンターテインメントに見立てて、

カツブルを結成する。

「私はもう一度自分自身のため

に踊りたかった。でもそれと同時に、〈ミルコ抜きのアレッ

シア〉を知つてもらいたいといふ願いも強くあつたのよ。競技ダンス界では男女が一緒に勝利しても男性の名前で語られがちだから」

かくて「愛する人」と連れだっての練習通いと遠征とい

う、それまで一人の女性として

実現を妨げられてきた（賀沢）

を実行に移し、ついにあの全英選手権タンゴの決勝戦に至る。

結果は5位。

「翌日あの瞬間を幾度となく思

い返しながら私は、自分の願い

達したの。世界選手権優勝に比

「ミルコ抜きの私」を知つてもらいたかつたの。

王者になれる』という意識で一致したのね。それ以来私たち

は兄と妹の関係になつたのよ。あの瞬間私は『これからは何とも〈alone〉。私は〈ひとり〉で旅ができるほど強いはず』と

覚悟を決めたのよ』

彼らは実際2002年1月

のUKオープン以降2004年の同大会でプロに向するまで、世界選手権を含めた全戦全勝のアマ王者として君臨する。が、後年その〈alone〉の彼女を苦み始める。自伝ビデオの中に、2006年9月千葉・幕張での世界プロ選手権で2連覇を果たした彼女が、表彰台の上で滂沱の涙を流す場面がある。歓喜の涙ではない。

「当時私はセリエ・リーグのサッカー選手の恋人がいて、お互いにキャリア最優先ということで合意してたの。でもその一方で『人生で一番大切なものは何?』と自問し始めたし、『私生活とキャリアを両立させられるかも』という希望もあつた。でも連覇して思い知ったの

が、諦観の涙に暮れても懊惱がない。ほかはすべて〈out〉が、諦観の涙に暮れても懊惱はない。その後も「人生に喜びを感じたい」「このまま続

こうしてミルコ&アレッシアの不敗伝説の時間は止まつたが、彼女はほどなく、その伝説の陰で長らく窒息させられていた〈踊る喜び〉——自分

の喜びのために踊り、それを公私にわたるパートナーと共有する喜び——を世界

vs.「感じない」日本人

「ナチュラル・ダンサー」

——「私のキャリア優先は揺るがない。ほかはすべて〈out〉

が、諦観の涙に暮れても懊惱はない。その後も「人生に喜びを感じたい」「このまま続

こうしてミルコ&アレッシアの不敗伝説の時間は止まつたが、彼女はほどなく、その伝説の陰で長らく窒息させられていた〈踊る喜び〉——自分

の喜びのために踊り、それを公私にわたるパートナーと共有する喜び——を世界





(左)2007年全英2連覇 (上)ミルコとの最後の試合となった2009年8月GOCの表彰式。カップル解消の決意を胸に (PHOTO COURTESY: ALESSIA BETTI)

内のオリーブの木々はまだ実を残して、立ち枯れたぶどう畠だけがわずかに晩秋の気配を醸す。彼女の生まれも育ちも、生涯の師ファビオ・セルミや夫と共同所有するダンス・クラブ「Tip Tap One Montecatini」も、フイレンツェ郊外のペー シャという町。今日はそこから 2 時間かけてこのSPA施設に単身ドライブして来たという。

「アンジェロが一緒に来られなくてごめんなさいね。彼、パートナーとの練習が忙しく」——引退したのはカップ

ルとしてではなく、あくまでも彼女だけ。ゆえに主要競技会での仰々しい引退発表は避け、「恩師も友人も同僚たちも皆がそこにいてくれる」親密度の高い重要なイベントを告別ダンスの場に選んだのだという。

それにしても、なぜ今引退なのか？あのブラックプール決勝入りを第二のキャリア隆盛につなげるのかと期待を抱かせた矢先なのに。

「私のためにじやなくアンジエロのために、今こそ私が競技を退くベスト・タイムだと思った

すれば私と踊るよりも彼がこの先長く踊れるのだから』
アンジエロの新パートナーの名前は『アントネッラ・デ・カロリス』。順調なユース時代後伸び悩んだそうだが、「才能があるし、たとえ私より『良い』パートナーではなくても、私よりキヤリア的にも年齢的にもカツプル・バランスが良いのよ」。彼女、あなたに似たタイプのダンサー? 「そうよ。ストロング・レイディーなの(笑)。』
彼はもしかして張り切つていなか? 「そうなの。これからは

が中途半端で。私の前にはミルコの現パートナーのエディタと半年だけ組んでたのよ。カツブル結成2か月後の2009年ブラックプールでデビューしてライジングスター部門で優勝（一般プロ部門8位）。彼女には赤ちゃんがいたから、彼がしょっちゅう（彼女の住む）リトニアまで出かけてた。でも、ずっと喧嘩のし通しだつたみたい」

そんな元世界アマ女王（1度…たたたし薬物検査陽性反応

頂点での「一人ぼっち」と新たな「勝利」

モ退直後アシストせ [I'm
Going To Tell You a Story....

としてではなく、あくまでも彼女だけ。ゆえに主要競技会の仰々しい引退発表は避け、恩師も友人も同僚たちも皆そこにいてくれる「親密度の高い重要なイベントを告別」の場に選んだのだという。それでも、なぜ今引退なのか? あのブラックプール大勝入りを第二のキャリア隆盛につなげるのかと期待を抱かせた矢先なのに。

私のためにじやなくアンジェのため、今こそ私が競技を走るべスト・タイムだと思ったの。私は33歳で彼は27歳。彼が自分自身のキャリアを築いていくためには、同じ志を持った同年代の新しいパートナーと新たな目標に向かって戦略を練り直した方が良い。そう

それに毎日向き合う彼女の気分を調整して何なく切り抜けた。この先アンジェロがさらに伸び悩んだぞうだが、「才能があるし、たとえ私より『良い』パートナーではなくても、私よりキャリア的にも年齢的にもカッブル・バランスが良いよ」。彼女、あなたに似たタイプのダンサー? 「そうよ。ストロング・レイディーなの(笑)」。彼はもしかして張り切つない? 「そうなの。これからは(私のパートナーだという色眼鏡なく)自分自身の踊りを見ても、ずつと喧嘩のし通しだたみたい」

そんな元世界アマ女王(一度・ただし薬物検査陽性反応でタイトル剥奪)との苦闘に続いている元アマ&プロ世界女王(通算6度)との競技生活は、婚約者同士と言えども——あるいはおそらくそれゆえにそ——彼にとつていつそう困難だったのでは?

彼のそんなプレッシャーと、それに毎日向き合う彼女の気分を調整して何なく切り抜けた。この先アンジェロがさらに伸び悩んだぞうだが、「才能があるし、たとえ私より『良い』パートナーではなくても、私よりキャリア的にも年齢的にもカッブル・バランスが良いよ」。彼女、あなたに似たタイプのダンサー? 「そうよ。ストロング・レイディーなの(笑)」。彼はもしかして張り切つない? 「そうなの。これからは(私のパートナーだという色眼鏡なく)自分自身の踊りを見ても、ずつと喧嘩のし通しだたみたい」

そんな元世界アマ女王(一度・ただし薬物検査陽性反応でタイトル剥奪)との苦闘に続いている元アマ&プロ世界女王(通算6度)との競技生活は、婚約者同士と言えども——あるいはおそらくそれゆえにそ——彼にとつていつそう困難だったのでは?

最初はむづかしかったわ。私が彼に教えるとしたり、彼が意見を言いかけるのを遮つたり。でもそれでは彼のストレスが増すばかりだと私が徐々に個人的愛情?

アントニオ・ミルコの現パートナーのエディターカロリス。順調なユース時代後伸び悩んだぞうだが、「才能があるし、たとえ私より『良い』パートナーではなくても、私よりキャリア的にも年齢的にもカッブル・バランスが良いよ」。彼女には赤ちゃんがいたから、彼がしょっちゅう(彼女の住む)リトニアまで出かけてた。でも10時間の予定で練習を始めたみたい

引退直後アレッシアは『I'm Going To Tell You a Story… Alessia Betti』と題した自伝的ビデオをYouTubeにアップロード。その中でこんなナレーションが流れれる——「アンジェロとダンス・フロアで共に過ごした2年間、彼女は共に練習し旅行し試合に備える時間を分かち合う喜びを見出しまし

た。それは彼女にとって(勝利)であり、彼女はそれまでに獲得したあらゆる成功、どんなタイ

すれば私と踊るよりも彼がこの先長く踊れるのだから」
アンジエロの新パートナーの名前は「アントネッラ・デ・カロリス」。順調なユース時代後伸び悩んだそうだが、「才能があるし、たとえ私より（良い）パートナーではなくても、私よりキヤリア的にも年齢的にもカッブル・バランスが良いのよ」。彼女、あなたに似たタイプのダンサー? 「そうよ。ストロング・レイディーなの（笑）」。彼はもしかして張り切つてない? 「そうなの。これからは（私のパートナーだという色眼鏡なく）自分自身の踊りを見てもらえるから、エンジョイすると思うわ。私と一緒だとキヤリア上のバランスが悪いし、ミルコの影がついて回るし」

彼のそんなプレッシャーと、それに毎日向き合う彼女の気づかいと。いつたい二人のパートナーシップ維持を可能にした要因は何だったのだろう?

個人的愛情?

「いいえ。私が彼の才能を信じているからよ。彼はこれまでパートナーに恵まれなかつたの。彼は常に踊りにすべてを賭けているのに、どの相手も態度

が中途半端で。私の前にはミルコの現パートナーのエディタと半年だけ組んでたのよ。カップル結成2か月後の2009年ブラックプールでデビューしてライジングスター部門で優勝(一般プロ部門8位)。彼女には赤ちゃんがいたから、彼がしょっちゅう(彼女の住む)リトニアまで出かけてた。でも10時間の予定で練習を始めたも、ずっと暗暈のし通しだったみたい」

私はミルコは長年共有してきた経験から、試合中問題に直面しても即座に互いのバランスを調整して何なく切り抜けた。この先アンジェロがさらには、今私が彼に何を欲していたかを理解してくれると思うわ」

頂点での「人ぼっち」と新たな「勝利」



①2011年9月の挙式当日、彼の故郷シリー島バレーモの港で ②3歳からバレー開始 ③ミルコ以前のパートナーと ④2003年世界アマ選手権2連覇。2位ドメニコ&ジョイア、3位アルーナス&エディタ ⑤2005年11月世界プロ選手権初優勝の夜、師F・セルミ&S・ファンチェロ ⑥同じく母と姉と ⑦18歳の春、父が癌で他界。翌年の全英で屈辱の43位を喫する (PHOTO COURTESY: ALESSIA BETTI)

べればささやか（な成就）かも
しない。でも私は私自身を、
クにばかり懸命だから、いき
おい筋肉の力みを使って動く。
パートナー間の手を通じての
パフォーマンスを繰り返し磨いても、試合本
番となると「絶対にルーティ
ンに従わない」ことで知られる
日本選手はそもそも教えられ
れを身体運動のメカニクス（循
環構造的過程）へと広げ深めて
（感じる）努力をしない。足の
動きを改善すればそれに運動
する身体の他の部位も変わる
はずなのに、あくまでも足が変
わるだけ。中国人選手は猛練
習した上に、教わった技術をさ
らに（感じ）ようと努力する。
もつと纖細よ。日本人はもつと
自分がダンスでやりたいこと
を（感じ）なくちゃダメ。もつ
とダンスにパーソナリティー
が待たれる。

Alessia Betti
アレッシア・ベッティ ●トスカーナ州ベーシャ生まれ。両親はダンス・クラブを経営。8歳で競技ダンス開始後1989年11歳で14歳のM・ゴッソーリとカップル結成。師F・セルミに入門。2002年以来アマ戦無敗。2004年プロ転向後2006年以来プロ無敗。2009年8月ミルコとカップルを解消し、同年11月よりA・マドニアと組む。2011年10月引退。



アンドラッキオは彼女の年來
の教え子である。ほかにも全英
プロ・セミファイナリストやロ
ンドン・インターJU21部門2位
カップルなどが、現役時代にさ
かのぼるコーチとしての彼女
の技量を早くも証明している。
そんな彼女に来日時に教え
た日本人選手たちの印象を問
うと、

「日本人選手はいろいろな先生
に習い過ぎで情報過多。それか
ら、（感じる）ことができない
のね。相手に与えて相手から吸
收するという、身体ハーモニー
によるコミュニケーションができ

ない。ポジショニングのチェック
しない。でも私は私自身を、
クにばかり懸命だから、いき
おい筋肉の力みを使って動く。
パートナー間の手を通じての
パフォーマンスを繰り返し磨いても、試合本
番となると「絶対にルーティ
ンに従わない」ことで知られる

日本選手はそもそも教えられ
れを身体運動のメカニクス（循
環構造的過程）へと広げ深めて
（感じる）努力をしない。足の
動きを改善すればそれに運動
する身体の他の部位も変わる
はずなのに、あくまでも足が変
わるだけ。中国人選手は猛練
習した上に、教わった技術をさ
らに（感じ）ようと努力する。

アレッシア・ベッティ
シエラ・日本選手の不感症（失
礼！）治療のための彼女の来日
が待たれる。